

2022年3月7日

各位

会社名 インスペック株式会社
 代表者名 代表取締役社長兼 菅原 雅史
 代表執行役員
 (コード番号：6656 東証第二部)
 問合せ先 取締役兼執行役員 佐藤 真
 管理統括部長
 TEL 0187-54-1888 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2021年6月7日に公表しました2022年4月期(2021年5月1日～2022年4月30日)通期業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想値の修正

2022年4月期(2021年5月1日～2022年4月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	2,300	80	200	170	44円85銭
今回発表予想(B)	1,750	17	120	100	26円38銭
増減額(B-A)	△550	△63	△80	△70	—
増減率(%)	△23.9	△78.8	△40.0	△41.2	—
(ご参考)前期実績	1,273	△277	△310	△1,195	△315円95銭

2. 業績予想の修正理由

当社は、今期の売上計画23億円の達成に向けてスタートを切りましたが、計画していた中国市場の案件において、長期化している厳しい渡航制限により思うように商談が進められず、いくつかの大型案件が翌期にずれ込む見込みとなりました。

一方、国内市場では複数の半導体パッケージ基板メーカーを中心に投資計画が動き出しており、大規模な計画などを含め商談が活発化しております。商談の中の規模の大きい案件については、その多くが来期の売上になる見込みです。

この結果、今年度の売上計画2,300百万円に対し売上見通しが1,750百万円と大幅な未達となる見込みです。

以上の理由から、営業利益につきましては、売上の落ち込みにより売上総利益が減少し、販売費及び一般管理費のコスト削減に取り組んだものの、売上総利益の減少をカバーするまでには至らず、営業利益17百万円となる見込みです。経常利益につきましては、2020年に採択されました「NEDO 戦略的エネルギー技術革新プログラム」の当期助成分の補助金収入を当第4四半期

に計上することなどにより経常利益 120 百万円、当期純利益につきましては、当期純利益 100 百万円の見込みです。なお、2022 年 4 月期の期末配当予想につきましては、現時点で変更はありません。

3. その他（現在の取り組みについて）

当社は、「社会の繁栄と発展に貢献する」という経営理念のもと、現在好調な半導体業界の波をしっかりと捉えるべく、全社一丸となって事業活動に取り組んでおります。2022 年 1 月 5 日付「大型受注に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、現在、当社の主力製品でありますロール to ロール型検査装置及び高性能フラットベッド型検査装置の引き合いや商談が非常に活発化してきております。この背景として、半導体の需要増大に対応するため顧客の設備投資計画が生産ラインの増強のみならず、工場を新設して増産対応にあたるなど、かつてないほど旺盛な設備投資を計画していることがあります。

当社としましては、引き続き顧客からの要望にしっかり応えながら受注活動に努めており、全力を挙げて当期末の受注残高の積み上げを図ってまいります。

(注) 本資料に記載している業績予想等に関する将来に関する記述には、発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上